実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和７年度
助成団体	北海道札幌市
事業細目名	総合型地域スポーツクラブ創設支援事業
事業名	札幌中央コミュニティクラブ設立準備委員会
助成金額	864,000 円

令和７年度総合型地域スポーツクラブ活動助成で、創設支援事業を行っている北海道札幌市及びその間接助成団体である「札幌中央コミュニティクラブ設立準備委員会」の実施状況についてWeb 調査を行いました。

設立準備委員会は令和 8 年 4 月のクラブ設立を目指しており、調査時点では 7 回の設立準備委員会が開催されていました。令和 7 年 10 月からプレイベント等の計画も順調に進んでおり、ダンス、ボッチャ、モルックの体験会を開催したそうです。

市内の公共施設等を活用し、夏季・冬季あわせて 10 種目程度の教室実施を考えており、将来的には法人格を取得したうえで、部活動地域移行の受け皿としての役割も担う想定とのことです。

■助成の意義

助成金を指導者謝金やスポーツ用具費に充当することで、指導者の安定的な配置やイベントの規模を拡大することができ、参加者数の増加や活動の充実に役立っているとのことです

■事業効果を高めるための取り組み

プレイベントとして地域の小学生を対象に 2 度開催したダンスイベントでは、1 回目が約 10 名の規模であったところから、2 回目は専門の講師を招いたことで 100 名以上の参加があり、地域における認知度向上に繋がったと伺いました。また、ボッチャのイベントにおいては元々地域で盛んであったモルックに紐づけて開催したことで、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が参加されたとのことです。今後は、バスケットボールのミニ大会を予定しており、これらプレイベントで実施した種目を、設立後に行う教室の主軸とする予定だそうです。

一方、認知度向上のための取り組みとして、チラシ配布や活動場所でのイベント周知を行っているものの、“総合型地域スポーツクラブの設立に向けた活動であること” が十分に認知されていない点が課題として挙げられていました。引き続き、札幌市内や区内で開催されるイベントにおいて“総合型地域スポーツクラブ”としての周知活動を行い、解決を図るとのことです。

■所感

今回の調査では、札幌中央コミュニティクラブ設立準備委員会が地域に根差したクラブづくりに向けて着実に準備を進めている様子がうかがえました。ダンスイベントで 100 名以上の参加が

あったことは、地域の関心の高さを示していると感じます。また、ボッチャやモルックなど、幅広い世代が楽しめる種目を取り入れている点も魅力的です。一方で、総合型地域スポーツクラブとしての認知度や指導者確保など、今後取り組むべき課題もあるとのことでした。

今後も周知活動やイベント開催を通じて、さらに地域に開かれたクラブの設立ができることを期待しています。

（令和 7 年 12 月 16 日 WEB 会議形式）

（写真）ダンス体験会(左)モルック体験会(右)の様子（※写真提供：北海道札幌市）	
	